

KENWOOD

VHF デジタル車載無線電話装置

TCM-D144

TCM-D144G

UHF デジタル車載無線電話装置

TCM-D244

TCM-D244G

TCM-D344

TCM-D344G

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保存してください。


本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。
本機は電波法令による無線局の免許を取得して使用する製品です。


株式会社 JVCケンウッド


安全上のご注意

絵表示について


この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。


 **危険** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。


 **警告** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 △記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。

 ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。

 ●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを AC コンセントから抜け）を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危険

引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリン等の可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。



運転しながらの操作や通話はおやめください。安全な場所へ車を停車させてから本機の操作や通話をしてください。運転しながら表示を見るときは必要最小限とし、注視するのは避けてください。



警告**使用環境・条件**

電子機器(特に医療機器)の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。



航空機内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください(電源も入れないでください)。運行の安全や無線局の運用や放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。



本機を使用できるのは、日本国内のみです。外国では使用できません。



本機は上空及び海上での使用はできません。

**本機の取り扱いについて**

DC 電源コードに重いものをのせたり、加熱したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり傷つけたりしないでください。芯線が露出・断線したり、圧迫されたまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



濡れた手で DC 電源コードに触わないでください。感電の原因となります。



長時間の連続送信はしないでください。本体の温度が上昇して、やけどの原因となります。



アンテナのごく近くに人・動物・ペット等がいるときは、電波を放射しないでください。やけど、目の異常の原因となります。



濡らしたり、濡れやすい場所で使用しないでください。水滴が付いたときは、乾いた布でふきとってください。内部に水が入った場合は、ご購入の販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



本機を布・布団等で覆わないでください。火災の原因となります。



内部に金属片・異物等を入れたり、入りやすい環境で使用しないでください。



金属片・異物等が入った場合は、ご購入の販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



ケースは開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、ご購入の販売店にご依頼ください。

**異常時の処置について**

以下の場合、すぐに本体の電源を OFF にして、DC 電源コードを取り外してください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



- 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- 落したり、ケースを破損したとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- DC 電源コードが傷んだとき (芯線の露出や断線など)

雷が鳴り出したら、安全のため早めに本体の電源を OFF にし、DC 電源コードを取り外して、ご使用をお控えください。



本機を落したり、ケースを破損した場合は、電源スイッチを切り、DC 電源コードを外してから、ご購入の販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

**注意****使用方法について**

テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりします。カーラジオやカーステレオにノイズが入るときは、アンテナの位置を調節してください。



アンテナを接続しない状態で、送信しないでください。火災・故障の原因となります。



各入出力端子 (DC 電源コードなど) には、付属または指定のもの以外は接続しないでください。故障の原因となります。



長期間ご使用にならないときは、必ず電源スイッチを切り、DC 電源コードを外してください。火災・故障の原因となります。

**保守・点検**


お手入れの際は、必ず電源スイッチを切り、DC 電源コードを外してください。火災・感電・故障の原因となります。





設置・接続時の安全について


設置と接続は、ご購入の販売店にご相談ください。


警告


分解・改造したものは使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。


設置場所は、車の運転の妨げにならない安全な場所を選んでください。


直射日光の当たる場所や、風通しの悪い場所には設置しないでください。火災の原因となります。


本機の電源電圧は DC13.8V/ DC26.4V です。DC26.4V+10% を超える DC 電源には接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

送信時には大電流が流れます。付属品以外の DC 電源コードは使わないでください。火災・感電・故障の原因となります。


DC 電源コードは赤い線がプラス極、黒い線がマイナス極です。極性を間違えて接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。


DC 電源コードやアンテナケーブルを無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり傷つけたりしないでください。芯線が露出・断線したり、圧迫されたまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。


DC 電源コードを加工したり、ヒューズホルダーを取り除くことは、絶対にしないでください。火災・故障の原因となります。


濡れた手で DC 電源コードに触らないでください。感電の原因となります。


DC 安定化電源の使用について

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。


DC 電源コードを接続する前に、無線機と DC 安定化電源の電源スイッチは必ず切ってください。感電の原因となります。


他の機器とタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。


電源プラグとコンセントの間に、指や金属片が入るようなすき間をあけないでください。火災・感電・故障の原因となります。


電源プラグにほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。


注意


アンテナや同軸ケーブルに、指定以外のものを使ったり、調整が不完全なアンテナを使わないでください。他の電子機器に電波障害を与えます。


車載の場合、シガーライターソケットは電源容量が小さいため、使用しないでください。火災・故障の原因となります。

DC 電源コードはヒーターや熱器具の吹き出し口近くに配置しないでください。被ふくが溶けて火災・感電・故障の原因となります。

DC 電源コードの着脱時にコード部分を引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となります。

本機を移動させる場合は、必ず DC 電源コードを抜いてください。DC 電源コードが傷つくと、火災・感電・故障の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり、倒れるとけがや故障の原因となります。

油煙や湯気が当たる場所には設置しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

免責事項について

本機の故障・誤動作などにより、利用の機会（通話など）を逸したために発生した障害などの付随的損害については、弊社は一切その責任を負いません。

電波法に関するご注意

- 本機は電波法令に基づき、特定無線設備の工事設計についての認証を取得した製品です。本機を分解・改造して使用すること、また本機裏面の技術基準適合証明ラベルを剥して使用することは、電波法令により禁止されています。
- 他人の通信を聞いてこれを漏らし、又は窃用することは電波法令により禁止されています。
- 施設の管理等により、使用が禁止されているところでは、本機を使用しないでください。

目次

安全上のご注意	2
機種一覧表	7
ご使用の前に	8
準備する	8
付属品を確認する	8
各部の名称	9
背面パネル	9
操作パネル	10
スピーカーマイクロホン	11
表示部	12
基本操作	14
通話する	14
待受受信操作	14
音量を調節する	14
送信操作	15
運用を終了する	15
基本機能について	16
メニュー	16
受信オーディオ・イコライザーの設定	18
スケルチレベルの設定	18
PF(プログラマブルファンクション)	19
応用操作	20
デジタル通信について	20
ユーザーコード(UC)通信	20
デジタルセレコール	20
個別呼び出し	20
グループ呼び出し	22
その他のデジタルセレコール機能	23
エマージェンシーと録音再生制御	24
エマージェンシー	24
録音再生制御	24
その他の機能	25
その他	27
キー機能割り当てメモ	27
PF【プログラマブルファンクション】メモ	27
IDグループメモ	27
運用上の注意	28
故障かな?と思ったら	29
保証とアフターサービス	30
オプション(別売品)について/仕様	31

機種一覧表

本書は、以下の簡易無線機と一般業務用無線機を共通に説明しています。

簡易無線機

機種名	TCM-D144	TCM-D144G
型名	TCM-D144-CT	TCM-D144G-CT
周波数範囲	VHF 帯 28ch (内データ専用 9ch ¹⁾ (デジタル)、VHF 帯 9ch (アナログ)	
送信出力	1 W / 5 W	

機種名	TCM-D244	TCM-D244G
型名	TCM-D244-CT	TCM-D244G-CT
周波数範囲	UHF 帯 65ch (デジタル)、UHF 帯 35ch (アナログ)	
送信出力	1 W / 5 W	

一般業務用無線機

機種名	TCM-D144	TCM-D144G
型名	TCM-D144-FT	TCM-D144G-FT
周波数範囲	142 MHz ~ 162.0375 MHz	
送信出力	1 W ~ 10 W	

機種名	TCM-D244	TCM-D244G
型名	TCM-D244-FT	TCM-D244G-FT
周波数範囲	400 MHz ~ 470 MHz	
送信出力	1 W ~ 10 W	

機種名	TCM-D344	TCM-D344G
型名	TCM-D344-FT	TCM-D344G-FT
周波数範囲	335.4 MHz ~ 400 MHz	
送信出力	1 W ~ 10 W	

簡易無線機は法令により自動識別装置 (ATIS) / 呼出名称記憶装置 (CSM) を内蔵しています。

¹ TCM-D144-CT/TCM-D144G-CT の、データ専用の 9 ch については、販売店にお問い合わせ下さい。

取扱説明書の記載内容について

この取扱説明書では、代表的な使用例としての設定による説明が記載されています。**販売店において各種設定を変更している場合がありますので、操作方法や表示部の表示内容などが本書の説明と異なる場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。**

また、下記のマークが付いた機能は、それぞれデジタル通信方式およびアナログ通信方式に設定されている場合にのみ対応する機能の説明です。

デジタルモードのみ **アナログモードのみ**

説明上の注釈表記について



このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。



このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

準備する

付属品を確認する

付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

名称	数量
スピーカーマイクロホン	1
スピーカーマイクロホンハンガー	1
DC 電源コード (ヒューズ:5A 2個付属)	1
GPS アンテナ ¹	1
車載ブラケット	1
ネジセット	1
保証書	1
サービス拠点一覧表 (ケンウッド全国サービス網)	1
取扱説明書 (本書)	1

DC 電源コードについて

- DC 電源コードは、赤色の線が (+) 側、黒色の線が (-) 側です。

GPS アンテナの取り付けかた¹

- GPS 衛星から電波を受信しやすいように、水平に GPS アンテナを設置してください。
- GPS アンテナは、車内と車外のどちらにも設置できますが、車内に取り付けた場合は GPS 衛星の受信状態が車外に取り付けた場合に比べて悪くなります。車種によっては GPS 衛星の電波を受信できないこともあります。車外への設置をお勧めします。

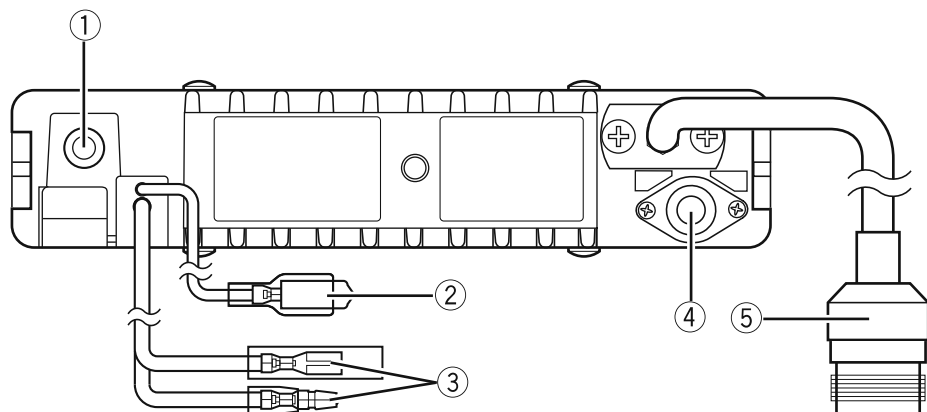


- 付属の GPS アンテナを本機以外には接続しないでください。本機以外に接続すると、過電圧のために GPS アンテナの内部回路が破損する場合があります。
(動作電圧: DC 3V)
- GPS アンテナを設置するときは、本機や携帯電話などの電子機器から離して設置してください。GPS 衛星からの電波がこれらの通信によって妨害される場合があります。
- GPS アンテナ上部が覆われないように取り付けてください。GPS 衛星の受信状態が悪化する場合があります。

¹ GPS アンテナは、TCM-D144G-CT/TCM-D144G-FT/TCM-D244G-CT/TCM-D244G-FT/TCM-D344G-FT のみに付属します。

各部の名称

背面パネル



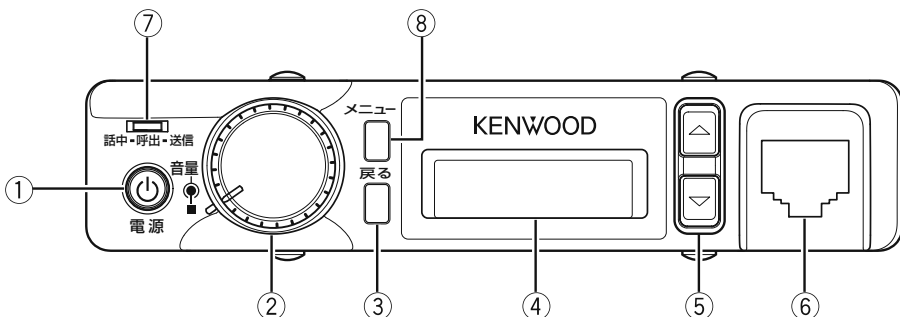
- ① **外部スピーカージャック**
オプションの外付け外部スピーカー KES-3、またはスピーカー付き電源 KBS-1 の外部スピーカープラグを接続します。
- ② **イグニッションセンス端子**
イグニッション電源へ接続します。
- ③ **電源コネクタ**
付属の DC 電源コードを接続します。
- ④ **GPS アンテナコネクタ**¹
付属の GPS アンテナケーブルを接続します。
- ⑤ **RF アンテナコネクタ**
N 型コネクタで 50 Ω 系の RF アンテナケーブルを接続します。



• イグニッションセンス端子は販売店の設定により使用可能となります。

¹ TCM-D144G-CT/TCM-D144G-FT/TCM-D244G-CT/TCM-D244G-FT/TCM-D344G-FT のみ

操作パネル



① 【電源】キー

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

② 【音量 / ■】つまみ

右に回すと受信音量が大きくなります。左に回すと受信音量が小さくなります。押すと設定された機能が動作します。

③ 【戻る】キー

設定画面で 1 つ前の画面に戻ります。1 秒間以上押すとメニューを終了します。

④ 表示部

設定されている状態を表示します。

⑤ 【▲】【▼】キー

【▲】：チャンネル番号がアップします。1 秒間以上押し続けると押している間連続してアップします。

【▼】：チャンネル番号がダウンします。1 秒間以上押し続けると押している間連続してダウンします。

⑥ スピーカーマイクロホン・コネクタ

付属のスピーカーマイクロホンを接続します。

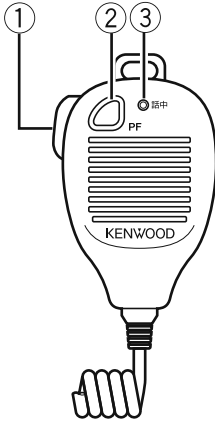
⑦ LED

LED の色	状態
緑（話中）	信号を受信している時、またはスケルチが解除されている時に点灯します。
オレンジ（呼出）	デジタルセレクトコール動作時点灯します。呼び出された時、不在着信時は点滅します。
赤（送信）	送信中に点灯します。（スピーカーマイクロホンの【プレストーク】スイッチを押している間、またはステータスやメッセージの送信中）

⑧ 【メニュー】キー

1 秒間以上押すとメニューを表示します。

スピーカーマイクロホン



- ① **【プレストーク】スイッチ**
 押すと送信状態になり、送話できます。
- ② **マイク【PF】スイッチ**
 押すと設定された機能が動作します。
- ③ **マイク LED(本体と連動)**
 信号を受信している時、またはスケルチが解除されている時に緑色(話中)点灯します。



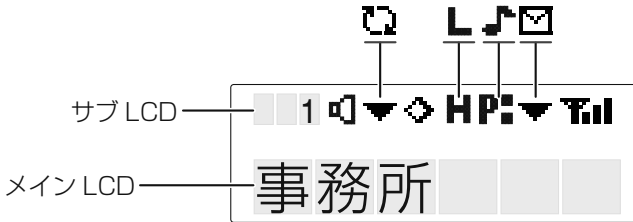
- 【音量 / ■】つまみ(押す操作)、【戻る】キー、【▲】【▼】キー、【メニュー】キー、マイク【PF】スイッチには機能が登録できます。登録する機能はあらかじめ販売店にて設定されています。変更したい場合は、販売店にお問い合わせください。(19ページの「PF(プログラマブルファンクション)」を参照)
- 設定された機能は27ページの「キー機能割り当てメモ」に記入しておくくと便利です。

各部の名称と機能

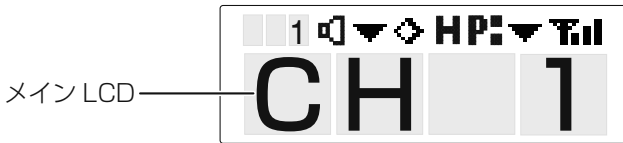
表示部

通常モード時

全角 6 文字表示



全角 4 文字表示



メニューモード時

例) 個別呼び出しモード



表示	説明
	スケルチ解除を表示します。
	右：スキャン対象チャンネルのときに表示します。 左：スキャン対象ゾーンのときに表示します。 ¹
	点灯：スキャン中。 点滅：スキャン一時停止。
	秘話機能 ON のときに表示します。
H	送信出力の設定を表示します。 H：ハイパワー出力。 L：ローパワー出力。

表示	説明
	P¹ ：プライオリティチャンネル 1 を表示します。 P² ：プライオリティチャンネル 2 を表示します。 P¹² ：プライオリティチャンネル 1 と 2 を表示します。
	着信したときに点滅します。点滅中に何れかのキーを押すと音声が出力され点灯に変わります。
	受信履歴を表示します。 デジタルセレコール機能でメッセージメールがある時に表示します。 点灯：受信履歴に既読のメッセージがあります。 点滅：受信履歴に未読のメッセージがあります。
	受信している電波の強さに応じて表示します。 Full ：強 3/4 ：中 2/4 ：弱 1/4 ：微弱 消灯：キャリア無し
	サブ LCD ：チャンネル番号やゾーン番号 ¹ および GPS の測位状態 ² を表示します。 例) ダイレクトチャンネルの場合：DR1 チャンネル番号 (デジタル) の場合：D01 ³ チャンネル番号 (アナログ) の場合：A01 ³
全角 6 文字表示 	メイン LCD ：以下の日本語表示に対応します (全角最大 6 文字まで)。 ・チャンネルネーム ・ステータスネーム ・ID ネーム (個別 ID/ グループ ID) ・エマーゲンシーテキスト etc.
全角 4 文字表示 	

¹ TCM-D144-FT/TCM-D144G-FT/TCM-D244-FT/TCM-D244G-FT/TCM-D344-FT/TCM-D344G-FT のみの機能です。

² TCM-D144G-CT/TCM-D144G-FT/TCM-D244G-CT/TCM-D244G-FT/TCM-D344G-FT のみの機能です。

³ TCM-D144-CT/TCM-D144G-CT/TCM-D244-CT/TCM-D244G-CT のみの機能です。



• 各アイコンは、販売店にて機能が設定されている場合に表示されます。

通話する

待受受信操作

基地局の場合、オプションのスピーカー付き電源 KBS-1 の取扱説明書もあわせてご覧ください。



- 他人の通信を傍受し、その存在もしくは内容を漏らしたり、窃用することは電波法で禁止されています。

1 【電源】を押す

基地局の場合、先にスピーカー付き電源の電源を入れます。

ビーブ音が鳴り、待受受信状態になります。

ディスプレイには設定されているチャンネル番号が表示されます。

2 【▲】または【▼】を押してチャンネルを合わせる

押すたびにチャンネル番号が切り替わります。1 秒間以上押し続けると押している間連続して切り替わります。

相手局の電波を受信すると、本機のLEDとマイクLEDが緑色(話中)に点灯し、スピーカーマイクロホンから受信音が聞こえます。

音量を調節する

● 【音量 / ■】を右に回す

【音量 / ■】を回して聞きやすい位置にセットしてください。



- 信号を受信していないときに、PF キー【スケルチ解除】を押すと“ザー”という雑音が出ます。音量レベルを調整するときの目安にもできます。**アナログモードのみ**
- PF キー【スケルチ解除】、または PF キー【スケルチ解除モーメンタリー】が押されスケルチが解除されているときは、本機のLEDとマイクLEDが緑色(話中)に点灯します。

送信操作

送信する前にしばらく受信状態にして、他局が通話中でないことを確認してください（本機のLEDとマイクLEDが消灯していること）。



- 通信は免許状に記載された無線局の目的、通信の相手方、通信事項の範囲を超えないでください。（非常通信など電波法で定める場合を除く）

1 スピーカーマイクロホンの【プレストーク】を押す

送信状態になり、本機のLEDが赤色（送信）に点灯します。

2 マイクに向かって話す

マイク部から口を5cm位離してお話してください。



- 大きな声で話したり、マイクとの距離が近すぎると、明瞭度が低下する場合があります。
- 相手局の送信が終了してから、送話してください。
- 用件は簡潔に伝えてください。送話が長引く場合は、ときどき送信を止めて、相手局の返事を確認してください。

運用を終了する

● 【電源】を押す

電源が切れます。

基地局の場合は、スピーカー付き電源の電源も切ってください。

基本機能について

メニュー

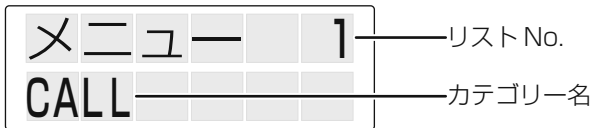
各機能を起動 / 設定します。

メニューの操作

例) スケルチ・レベルの設定

1 【メニュー】を 1 秒以上押す

メニュー表示に切り替わり、カテゴリリストが表示されます。



2 【▲】または【▼】を押してカテゴリを選び【メニュー】を押す

選択したカテゴリの設定項目リストが表示されます。

【戻る】を押すとカテゴリリスト表示に戻ります。

カテゴリ名



3 【▲】または【▼】を押してリストを選び【メニュー】を押す

選択した設定項目が表示されます。



4 【▲】または【▼】を押して設定値を選択する

5 【メニュー】を押して設定値を確定する

メニューが終了します。



- メニューは最大8つのカテゴリに分類されます。カテゴリが1つしか設定されていない場合は、設定項目リストが表示されます。
- 手順5で【戻る】を1秒以上押すと、設定値を確定せずにメニューが終了します。
- 表示されるメニューの設定項目やカテゴリは設定により異なります。設定内容および機能の詳細や操作については、販売店にお問い合わせください。

メニューの内容

メニューから起動 / 設定が可能な機能は右表の通りです。これらの機能は、販売店の設定により使用可能となります。設定内容や機能の詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

メニュー表示	機能内容
AUTODIAL ²	オートダイヤルの起動
AUX A	外部出力端子 A の ON/OFF
AUX B	外部出力端子 B の ON/OFF
DR1 SEL	ダイレクトチャンネルの設定
表示形式	表示形式機能の切り替え
MIC TYPE	外部マイク補正の設定
固定音量	固定音量の設定
GPS DISP ¹	無線機の位置表示モードの ON/OFF
グループ デジタルモードのみ	グループ呼び出しモードの起動
GRP+ デジタルモードのみ	グループ呼び出し+ステータスモードの起動
HOME SEL ²	ホーム・チャンネルの選択
個別 デジタルモードのみ	個別呼び出しモードの起動
個別+D デジタルモードのみ	個別呼び出し+ステータスモードの起動
輝度調整	LCD の輝度調整
TX HIGH	送信出力の切り替え
メンテ	メンテナンスモードの起動
モニター	モニターの ON/OFF
P.CH SEL	プライオリティチャンネルセレクトモードの起動
受信EQ	受信オーディオ・イコライザーの設定
RX AGC	受信音量の自動制御の設定
RX L CUT	受信時の低周波成分除去モードの起動
スキャン	スキャンの ON/OFF
対象選択	スキャン対象チャンネルの追加 / 削除
秘話	秘話機能の ON/OFF
秘話番号	秘話番号 / 秘話鍵リスト番号の変更
選択呼出 ²	セルコール (FleetSync) モード起動
選択+D ²	セルコール+ステータス (FleetSync) モード起動
SEND GPS ¹	GPS データの送信
SDM ³	ショートメッセージモードの起動
GRP+SDM ³	グループ呼び出し+ショートメッセージモードの起動
個別+M ³	個別呼び出し+ショートメッセージモードの起動
スケルチ アナログモードのみ	スケルチ・レベルの設定
SQL OFF	スケルチ解除の ON/OFF
受信履歴	受信履歴モードの起動
STATUS	ステータスモードの起動
PASSWORD	無線機パスワードモードの起動
送信EQ	送信オーディオ・イコライザーの設定
TX AGC	自動マイクゲイン制御の設定
TX N.CUT	送信時のノイズ除去モードの起動
対象選択 ²	スキャン対象ゾーンの追加 / 削除

¹ TCM-D144G-CT/TCM-D144G-FT/TCM-D244G-CT/TCM-D244G-FT/TCM-D344G-FT のみの機能です。

² TCM-D144-FT/TCM-D144G-FT/TCM-D244-FT/TCM-D244G-FT/TCM-D344-FT/TCM-D344G-FT のみの機能です。

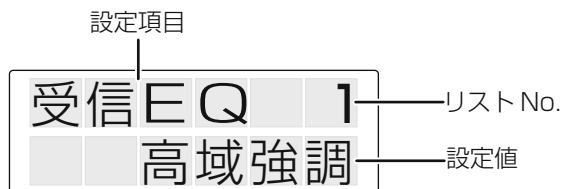
³ TCM-D144-CT/TCM-D144G-CT/TCM-D244-CT/TCM-D244G-CT のみの機能です。

受信オーディオ・イコライザーの設定

使用するスピーカーや無線機の設置環境、または使用者の好みに合わせて受信音質を調整して、聞きやすくする機能です。

1 メニューから受信オーディオ・イコライザーの設定を起動する

現在の設定値が表示されます。



2 【▲】または【▼】を押して設定値を選択する

「フラット、高域強調、低域強調」から選択できます。

3 【メニュー】を押して設定値を確定する

受信オーディオ・イコライザーの設定が終了します。

スケルチ・レベルの設定

スケルチ（雑音除去回路）が解除（開く）されるレベルを設定します。スケルチレベルを下げると弱い電波でも受信しやすくなりますが、雑音（“ザー”という雑音）が多くなります。逆に、スケルチレベルを上げると雑音は少なくなります。強い電波しか受信しなくなります。

1 メニューからスケルチ・レベルの設定を起動する

現在の設定値が表示されます。



2 【▲】または【▼】キーを押して設定値を選択する

設定値を「0～9」の範囲で変更します。



- 数値を上げると、強い信号のみ受信状態になります。
- 数値を下げると、弱い信号でも受信状態になります。
- 「0」に設定すると、常に受信状態になります。

3 【メニュー】を押して設定値を確定する

スケルチ・レベルの設定が終了します。

PF(プログラマブルファンクション)

本機のキーには下記機能の設定が可能です。(10 ページ参照)

<機能の詳細や操作については販売店にお問い合わせください。>

- なし (未設定)
- オートダイヤル²
- ワンタッチ・コール 1
～ワンタッチ・コール 6
- チャンネル番号ダウン
- チャンネル番号アップ
- 最終受信チャンネル (スキャン)
- チャンネル番号入力
- ダイレクト・チャンネル 1
～ダイレクト・チャンネル 5
- 表示形式
- エマージェンシー
- 固定音量
- ダブル・ファンクション
- 無線機の位置表示¹
- グループ (デジタル) **デジタルモードのみ**
- グループ + ステータス (デジタル)
デジタルモードのみ
- ホーム・チャンネル²
- ホーム・チャンネルに設定²
- 個別 (デジタル) **デジタルモードのみ**
- 個別 + ステータス (デジタル)
デジタルモードのみ
- キーロック
- LCD の明るさ
- 送信出力 (ハイ・パワー)
- メンテナンス
- メニュー
- モニター
- モニター・モーメンタリー
- 再生
- プライオリティチャンネルに設定
- スキャン
- スキャン対象 (チャンネル)
- 秘話
- セレコール (FleetSync)²
- セレコール + ステータス (FleetSync)²
- GPS データ送出¹
- スケルチ・レベル **アナログモードのみ**
- スケルチ解除
- スケルチ解除モーメンタリー
- 受信履歴
- ステータス (FleetSync/ デジタル)
- SDM (デジタル)³
- グループ + SDM (デジタル)³
デジタルモードのみ
- 個別 + SDM (デジタル)³
デジタルモードのみ
- 無線機パスワード
- スキャン対象 (ゾーン)²
- ゾーン・ダウン²
- ゾーン・アップ²
- 録音停止

¹ TCM-D144G-CT/TCM-D144G-FT/TCM-D244G-CT/TCM-D244G-FT/TCM-D344G-FT のみの機能です。

² TCM-D144-FT/TCM-D144G-FT/TCM-D244-FT/TCM-D244G-FT/TCM-D344-FT/TCM-D344G-FT のみの機能です。

³ TCM-D144-CT/TCM-D144G-CT/TCM-D244-CT/TCM-D244G-CT のみの機能です。

デジタル通信について

デジタル通信は、販売店の設定により使用可能となります。設定内容や機能の詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



- FleetSync ID(弊社が開発した FleetSync というデータ通信方式)を使用したアナログセレコールもあります。設定内容や機能の詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ユーザーコード (UC) 通信

同じチャンネルを複数のユーザーが使用する場合、同じユーザーコードを設定している通話グループ同士が通話できる呼び出し方式です。

本機はユーザーコード (UC) を、「OFF、1 ~ 511」¹、「OFF、1 ~ 63」²の範囲で設定できます。

デジタルセレコール

個別、グループの2種類を選択して呼び出すことができます。

個別呼び出し

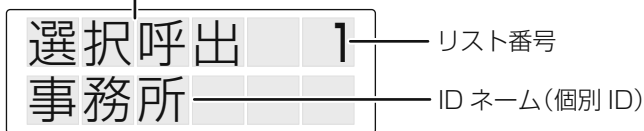
相手局を個別に呼び出して通話できます。

個別呼び出しをする

- 1 PF キー【個別 (デジタル)】、PF キー【個別 + ステータス (デジタル)】、または PF キー【個別 + ショートメッセージ】¹を押す

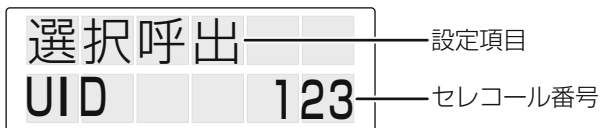
ID ネームのリストが表示されます。

設定項目



- メニューからも起動できます。

- 2 【▲】または【▼】で ID ネームのリストを選択します



セレコール番号を直接入力する場合は、【メニュー】を 1 秒以上押してから、下記の操作をします。

動作	操作方法
セレコール番号をアップする。	【▲】を押します。1 秒間以上押すと押している間連続してアップします。

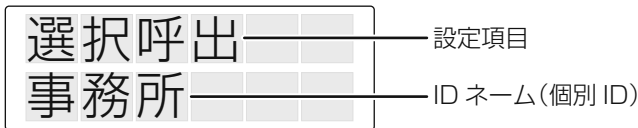
動作	操作方法
セレコール番号をダウンする。	【▼】を押します。1 秒間以上押すと押している間連続してダウンします。
選択している桁のセレコール番号を確定する。	セレコール番号を選択したあとに【メニュー】を押します。(次の桁に進みます。)
セレコール番号の桁を削除する。	【戻る】を押すと1 桁削除します。1 秒間以上押すと全桁削除します。
セレコール番号のリスト表示画面に戻る。	【メニュー】を1 秒間以上押します。



- セレコール番号は予め販売店で設定されています。
- セレコール番号の直接入力、販売店においてのみ設定可能です。

3 スピーカーマイクロホンの【プレストーク】を押し続ける

本機のLEDが赤色（送信）に点灯します。



4 マイクに向かって話す

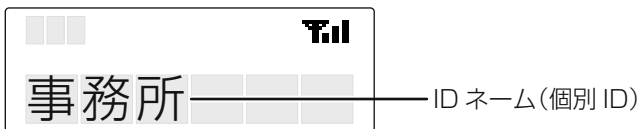
手順 1. で選択した相手と通信します。

受信に戻るには

5 スピーカーマイクロホンの【プレストーク】を離す

個別呼び出しを受けたら・・・

呼び出し音になり、本機のLEDがオレンジ色（呼出）に点滅します。



1 スピーカーマイクロホンの【プレストーク】を押し続ける

2 マイクに向かって話す

呼び出した相手と通信します。

受信に戻るには

3 スピーカーマイクロホンの【プレストーク】を離す

¹ TCM-D144-CT/TCM-D144G-CT/TCM-D244-CT/TCM-D244G-CT のみの機能です。

² TCM-D144-FT/TCM-D144G-FT/TCM-D244-FT/TCM-D244G-FT/TCM-D344-FT/TCM-D344G-FT のみの機能です。

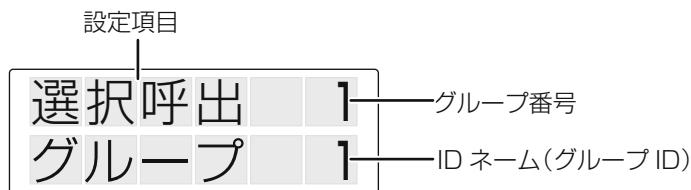
グループ呼び出し

個別局をグループに分けて、任意のグループ毎に呼び出してグループ内すべての相手と通話できます。

グループ呼び出しをする

- 1 PF キー【グループ (デジタル)】、PF キー【グループ + ステータス (デジタル)】または PF キー【グループ + ショートメッセージ】¹ を押す

グループ番号のリストが表示されます。



- メニューからも起動できます。

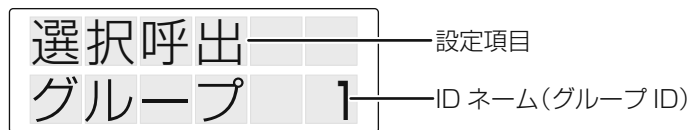
2 【▲】または【▼】でグループ番号のリストを選択します



- グループ番号はあらかじめ販売店で設定されています。

3 スピーカーマイクロホンの【プレストーク】を押し続ける

本機の LED が赤色(送信)に点灯します。



4 マイクに向かって話す

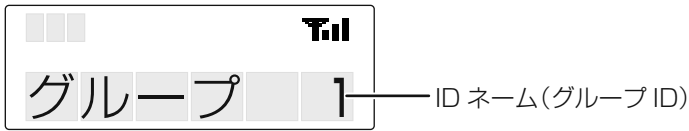
手順 2. で選択したグループ内すべての相手と通信します。

受信に戻るには

5 スピーカーマイクロホンの【プレストーク】を離す

グループ呼び出しを受けたら・・・

呼び出し音が鳴り、本機のLEDがオレンジ色（呼出）に点滅します。



1 スピーカーマイクロホンの【プレストーク】を押し続ける

2 マイクに向かって話す

呼び出した相手と通信します。

受信に戻るには

3 スピーカーマイクロホンの【プレストーク】を離す

その他のデジタルセレコール機能

個別呼び出し (ACK 要求)

相手局が通話可能であることを確認して呼び出して通話できます。

ページング呼び出し

通話せずに相手局を個別に呼び出すことができます。

¹ TCM-D144-CT/TCM-D144G-CT/TCM-D244-CT/TCM-D244G-CT のみの機能です。

エマージェンシーと録音再生制御

エマージェンシー

緊急に連絡が必要な場合、指定局に緊急信号の送受信を行う機能です。緊急信号を受信するとビープ音と表示で緊急事態発生を知らせます。この機能は販売店においてのみ設定可能です。

緊急信号を送信する

- PF キー【エマージェンシー】を押す

緊急信号送信を解除する

- 緊急信号を送信しているときに、PF キー【エマージェンシー】を押す



- メニューの操作中や録音再生中は、PF キー【エマージェンシー】は動作しません。
- アナログチャンネル受信中は、PF キー【エマージェンシー】は動作しません。
(TCM-D144-CT/TCM-D144G-CT/TCM-D244-CT/TCM-D244G-CTのみ)

録音再生制御

受信音を録音 / 再生する機能です。デジタルチャンネルで信号を受信したときに、録音を開始します。この機能は販売店においてのみ設定可能です。



- 受信音声は最大 3 件、3 件の合計が 50 秒まで録音できます。
- 既に受信音声録音されているときは、信号を受信すると録音音声を上書きします。古い録音音声は消去されます。(例：録音データが① 20 秒② 20 秒③ 10 秒のときに、④ 15 秒の信号を受信すると、録音データは① 20 秒③ 10 秒④ 15 秒になります。)

録音制御

- 録音の一時停止をする

PF キー【録音停止】を押す。本機の LED とマイク LED が緑色に点滅し、本機の表示部に「録音停止」と表示されます。

- 録音の一時停止を解除する

録音を一時停止しているときに PF キー【録音停止】を押す。本機の LED とマイク LED が消灯します。

再生制御

- 録音された音声を再生する

PF キー【再生】を押す。本機の表示部に「再生中」と表示されます。



- 録音されていない場合は「データ無」と表示されます。
- 再生中に PF キー【再生】を押すと、一つ古い録音データを再生します。
 - 一番古い録音データを再生中に PF キー【再生】を押すと、一番新しい録音データを再生します。
- 再生中に【プレトーク】を押す、または PF キー【再生】を 1 秒以上押すと、再生を中止します。
- 再生中は、送受信できません。

その他の機能

本機には次のような機能もあります。これらの機能は販売店においてのみ設定可能です。詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

● CTCSS **アナログモードのみ**

CTCSS (Continuous Tone Coded Squelch) とは、あらかじめ相手局と決めておいた CTCSS 周波数の信号を音声信号に付加して送信します。

自局と相手局で CTCSS 周波数が一致した時に、スケルチが開き受信できる機能です。選択できる CTCSS コードは 33 波です。

● DCS **アナログモードのみ**

DCS (Digital Coded Squelch) とは、あらかじめ相手局と決めておいた DCS コードを音声信号に付加して送信します。

自局と相手局で DCS コードが一致した時に、スケルチが開き受信できる機能です。選択できる DCS コードは 83 種類です。

● スケルチ解除 **アナログモードのみ**

手動でスケルチを解除する。またはシグナリングを解除して受信信号の状態をモニターする機能です。PF キー【スケルチ解除】を押す、またはメニューからスケルチ解除を設定するとスケルチが ON/OFF します。

● スケルチ解除モーメンタリー **アナログモードのみ**

PF キー【スケルチ解除モーメンタリー】を押している間スケルチが解除されます。

● タイムアウトタイマー

設定された時間が経過すると、連続送信を自動的に停止する機能です。

15 秒¹～5 分¹、15 秒²～20 分²の間で設定できます。

5 分間送信した後は 1 分間送信を禁止します。¹

設定された時間を過ぎても【プレストーク】スイッチを押し続けると警告音が鳴り、離すと停止します。送信を続けたいときは一度【プレストーク】スイッチを離してから再度押し直してください。


● LCD の明るさ

周囲の明るさに合わせて、表示部の明るさを切り替える機能です。「ハイ、ロー、オフ(消灯)」から選択できます。メニュー、または PF キー【LCD の明るさ】を押して切り替えます。

● ショートデータコール / ロングデータコール

ショートメッセージ (半角英数字: 100 文字 / 全角文字: 50 文字まで) またはロングメッセージ (半角英数字: 4096 文字 / 全角文字: 2048 文字まで) の送受信ができます。ロングメッセージは PC 等を接続して通信するため、トランシーバーにメッセージを表示させることはできません。

● ステータスコール **デジタルモードのみ**

あらかじめ設定された簡易メッセージ (「休憩中」「作業中」など) を送信する機能です。メッセージを受信すると表示部に "  " が点滅して知らせます。受信したメッセージは受信履歴モードで確認できます。

¹ TCM-D144-CT/TCM-D144G-CT/TCM-D244-CT/TCM-D244G-CT のみの機能です。

² TCM-D144-FT/TCM-D144G-FT/TCM-D244-FT/TCM-D244G-FT/TCM-D344-FT/TCM-D344G-FT のみの機能です。

その他の機能

● パワーオンステータス¹

本機の電源を入れたときに、電源オンの状態を基地局などに送信する機能です。

● パワーオフステータス¹

本機の電源を切ったときに、電源オフの状態を基地局などに送信する機能です。

● スキャン

スキャンはチャンネルを自動的に変化させて目的とする信号を受信できるチャンネルを探る機能です。本機には以下のタイプのスキャンがあります。

スキャンタイプ	機能内容
シングルスキャン ²	スキャンを開始したゾーンのみをスキャンします。
マルチスキャン ³	すべてのゾーンをスキャンします。
リストスキャン ³	スキャンリストに登録されているゾーンをスキャンします。
プライオリティスキャン ²	プライオリティチャンネルセレクトモードで設定したチャンネルを一定時間おきにスキャンしてチェックするスキャンです。

● キーロック

本機のキー操作を無効にして誤操作を防止します。PF キー【キーロック】を押して ON/OFF を切り替えます。キーロックが ON の場合でも以下のキーやスイッチは操作可能です。

- ・ PF キー【エマージェンシー】
- ・ PF キー【スケルチ解除】
- ・ PF キー【キーロック】
- ・ PF キー【スケルチ解除モーメンタリー】
- ・ PF キー【LCD の明るさ】
- ・ PF キー【ダブル・ファンクション】
- ・ PF キー【モニター】
- ・ 【プレストーク】
- ・ PF キー【モニターモーメンタリー】

● 送信パワーの切り替え（ハイパワー）

送信パワーを一時的にハイに切り替える機能です。

● GPS データ送出⁴

自局の位置情報を送信する機能です。

● 無線機の位置表示⁴

自局の位置情報を表示する機能です。

● 秘話

デジタルモードでは音声データを暗号化して秘匿性を高めた送受信ができます。アナログモードでは音声データにスクランブルをかけて、通話内容を聞き取れないようにする機能です。

¹ TCM-D144-CT/TCM-D144G-CT/TCM-D244-CT/TCM-D244G-CT では、デジタルモードのみの機能です。

² TCM-D144-CT/TCM-D144G-CT/TCM-D244-CT/TCM-D244G-CT では、アナログチャンネルが設定されているときはスキャンできません。

³ TCM-D144-FT/TCM-D144G-FT/TCM-D244-FT/TCM-D244G-FT/TCM-D344-FT/TCM-D344G-FT のみの機能です。

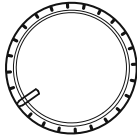


⁴ TCM-D144G-CT/TCM-D144G-FT/TCM-D244G-CT/TCM-D244G-FT/TCM-D344G-FT のみの機能です。

キー機能割り当てメモ

PF【プログラマブルファンクション】メモ

操作パネルのキーに割り当てられた機能を下の表にメモしておくくと便利です。

F+ : は設定した PF キー【ダブル・ファンクション】キーを押した後の 2 番目の機能です。

キー	割り当て機能	
 押す(■)		F+ :
メニュー 		F+ :
戻る 		F+ :
		F+ :
		F+ :
		F+ :

その他

ID グループメモ

ID グループ名に対する実際の名前などを下の表にメモしておくくと便利です。

表示	名称

運用上の注意

● 使用上の制限

通話は免許状に記載された次の事項の範囲内で行わなければなりません。

1. 無線局の目的
2. 通信の相手方
3. 通信事項

また、免許人以外が運用することは原則としてできません。

● 免許の有効期限

免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。

● 再免許の申請

引き続き運用する場合は、有効期間が終了する6ヶ月前から3ヶ月前までの間に、再免許の申請をしなければなりません。

再免許の手続きはお買い上げの販売店にご相談ください。

● 免許の申請その他の手続き

免許の申請や下記の手続きは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 再免許の申請
- 免許状の記載事項に変更が生じる場合
- 免許状が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
- 無線設備を変更する場合
- 無線局を廃止した場合

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因	処 置	参照 ページ
電源が入らない	DC電源コードが不良、または接続の不良。	DC電源コードに異常がないか、また極性が合っているか確認してください。(赤：+極、黒：-極)	8
	DC電源コードまたは本体のヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因がないか確認し、原因があれば処置してください。その後、指定容量のヒューズと交換してください。	8
	スピーカー付き電源の電源が切れている。	スピーカー付き電源の電源を入れてください。	—
受信音が聞こえない	スピーカーマイクロホンのコネクターの差し込みが不完全になっている。	スピーカーマイクロホンのコネクターを確実に差し込んでください。	10
	【音量 / ■】を絞っている。	【音量 / ■】を調整してください。	10
	受信電波が弱い。	PFキー【スケルチ解除】またはPFキー【スケルチ解除モーメンタリー】を押してください。	14
● 通話ができない ● 【音量 / ■】を回しても音が出ない	CTCSS/DCSのコードが違う。 アナログモードのみ	販売店にご相談ください。	25
	受信電波が弱い。	PFキー【スケルチ解除】またはPFキー【スケルチ解除モーメンタリー】を押してください。	14
	相手局とチャンネル設定が違っている。	同じチャンネル設定にしてください。	14
	相手局と通信方式が違っている。	販売店にご相談ください。アナログ通信方式とデジタル通信方式では、交信することができません。	—
	相手局のユーザーコード(UC)と合っていない。 デジタルモードのみ	販売店にご相談ください。	—
送信が出来ない	タイムアウトタイマー(連続送信防止機能)が働いている。	もう一度【プレストーク】スイッチを押してください。	25
	スピーカーマイクロホンのコネクターの差し込みが不完全になっている。	スピーカーマイクロホンのコネクターを確実に差し込んでください。	10
LEDが緑色(話中)に点灯したままになる	スケルチが解除されている。	PFキー【スケルチ解除】を押してください。	14
● チャンネルが切り換わらない ● キーを押しても機能しない	キーロックになっている。	キーロックを解除してください。	26

その他

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証について

【保証書（別添）】

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

【保証期間】

保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

【補修用性能部品の最低保有期限】

ケンウッドはこの本製品の補修用性能部品の、製造打ち切り後、8 年保有しています。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（29 ページ）を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店または弊社の通信機サービスセンターにお問い合わせください（別紙「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください）。

修理に出された場合、設定されたデータが消去される場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えくださいますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合等によって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

【保証期間中は】

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または弊社通信機サービスセンター、営業所が修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

【保証期間が過ぎているときは】

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。修理をご依頼のときは、製品名、製造番号、お買い上げ日、故障の状況（できるだけ具体的に）、ご住所、お名前、電話番号をお知らせください。

【修理料金の仕組み】（有料修理の場合は次の料金が必要です）

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

オプション（別売品）について / 仕様

オプション（別売品）について

本機には、次のようなオプション（別売品）が用意されています。

- ・ KES-3 外付け外部スピーカー
- ・ KCT-64 外部中継ケーブル
- ・ KCH-18 状態入力パネル
- ・ KBS-1 スピーカー付き電源（基地局用）
- ・ KMC-53 スタンドマイクロホン



- 本機に使用できるオプション製品が追加されたり、生産が終了することがあります。オプション製品についてはカタログ等をご覧ください。
- その他のオプションについては販売店にお問い合わせください。
- スピーカー付き電源の電源スイッチで電源を切ったときは、イグニッションセンス端子やパワーオフステータスは動作しません。

仕様

TCM-D244/TCM-D244G

機種名	TCM-D244	TCM-D244G	TCM-D244	TCM-D244G
型式名	TCM-D244-FT	TCM-D244G-FT	TCM-D244-CT	TCM-D244G-CT
電波型式	F1C/F1D/F1E/F1F（デジタル）、F3E/F2D（アナログ）			
変調方式	4 値 FSK（デジタル）、FM（アナログ）			
周波数範囲	400 MHz ~ 470 MHz		UHF 帯 65ch（デジタル）、 UHF 帯 35ch（アナログ）	
スピーカー出力 (10% 歪)	1.5 W（付属スピーカーマイクロホン）			
電源電圧	DC 13.8 V ± 10 % / DC 26.4 V ± 10 %（マイナス接地）			
寸法 (突起物を含む)	幅 120 mm x 高さ 25 mm x 奥行 150.4 mm (幅 120 mm x 高さ 26.5 mm x 奥行 152.7 mm)			
質量（重さ）	611 g	615 g	611 g	615 g
送信出力	1 W ~ 10 W（出荷時 5 W）		1 W / 5 W（出荷時 5 W）	
使用温度範囲	-20 °C ~ 60 °C			
内蔵 GPS	無し	有り	無し	有り
アンテナ接栓	N 型			

- 仕様は技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 送信出力、周波数、電波型式は、所有する無線局免許状により異なります。各設定はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

TCM-D144/TCM-D144G/TCM-D344/TCM-D344G

機種名	TCM-D344	TCM-D344G	TCM-D144	TCM-D144G	TCM-D144	TCM-D144G
型式名	TCM-D344-FT	TCM-D344G-FT	TCM-D144-FT	TCM-D144G-FT	TCM-D144-CT	TCM-D144G-CT
電波型式	F1C/F1D/F1E/F1F (デジタル)、F3E/F2D (アナログ)					
変調方式	4 値 FSK (デジタル)、FM (アナログ)					
周波数範囲	335.4 MHz ~ 400 MHz		142 MHz ~ 162.0375 MHz		VHF 帯 28ch (内データ専用 9ch ¹) (デジタル)、VHF 帯 9ch (アナログ)	
スピーカー出力 (10% 歪)	1.5 W (付属スピーカーマイクロホン)					
電源電圧	DC 13.8 V ± 10 % / DC 26.4 V ± 10 % (マイナス接地)					
寸法 (突起物を含む)	幅 120 mm x 高さ 25 mm x 奥行 150.4 mm (幅 120 mm x 高さ 26.5 mm x 奥行 152.7 mm)					
質量 (重さ)	611 g	615 g	611 g	615 g	611 g	615 g
送信出力	1 W ~ 10 W (出荷時 5 W)		1 W ~ 10 W (出荷時 5 W)		1 W / 5 W (出荷時 5 W)	
使用温度範囲	-20 °C ~ 60 °C					
内蔵 GPS	無し	有り	無し	有り	無し	有り
アンテナ接栓	N 型					

¹ TCM-D144-CT/TCM-D144G-CT の、データ専用の 9 ch では通話できません。

- TCM-D244/TCM-D244G の仕様は、31 ページです。
- 仕様は技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 送信出力、周波数、電波型式は、所有する無線局免許状により異なります。各設定はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

株式会社 JVC ケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル  0120-2727-87

発信者番号が非通知の場合は、『0120』の前に『186』を付けてからおかけください。

< 電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。 >

携帯電話・PHS・一部の IP 電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合は、
045-450-8950

F A X 045-450-2308

住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付日 月曜日～土曜日 (祝祭日・弊社休日を除く)

受付時間 月曜日～金曜日 9:30～18:00

土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社通信機サービスセンターにご相談ください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)